

岐阜大学

【著書・論文】

<和文著書>

1. 古井辰郎、山本晃央、寺澤恵子、森重健一郎:CAPTER D. Topics 今後の普及や臨床応用に向けて.a.医学的適応による卵巣凍結. エキスパートによる生殖領域の外科的手法 生殖内視鏡と不妊治療のコツ. 柴原浩章編:中外志医学社:316-320, 2020

<和文総説>

1. 森重健一郎:更年期障害[私の治療]. 週刊日本医事新報:No.5013,p.56.2020

<欧文原著>

1. Iihara H, Shimokawa M, Hayasaki Y, Fujita Y, Abe M, Takenaka M, Yamamoto S, Arai T, Sakurai M, Mori M, Nakamura K, Kado N, Murase S, Shimaoka R, Suzuki A, Morishige KI: Efficacy and safety of 5 mg olanzapine combined with aprepitant, granisetron and dexamethasone to prevent carboplatin-induced nausea and vomiting in patients with gynecologic cancer: A multi-institution phase II study.. *Gynecol Oncol.* in press. 2020
2. Ando T, Kato H, Kawaguchi M, Furui T, Morishige K-I, Hyodo F, Matsuo M: MR findings for differentiating decidualized endometriomas from seromucinous borderline tumors of the ovary. *Abdominal Radiology.* doi: 10.1007/s00261-020-02412-x. in press. 2020
3. Machida H, Iwata T, Okugawa K, Matsuo K, Saito T, Tanaka K, Morishige K-I, Kobayashi H, Yoshino K, Tokunaga H, Ikeda T, Shozu M, Yaegashi N, Enomoto T, M Mikami: Fertility-sparing Trachelectomy for Early-Stage Cervical Cancer: A Proposal of an Ideal Candidate. *Gynecologic Oncology.* doi: 10. 1016/ j.ygyno. 2019. 11.021, 156(2): 341-348. 2020
4. Kawaguchi M, Kato H, Hatano Y, Tomita H, Hara A, Suzuki N, Miyazaki T, Furui T, Morishige K-I: MR imaging findings of low-grade serous carcinoma of the ovary: comparison with serous borderline tumor. *Japanese Journal of Radiology*38: 782-789. 2020
5. Kaga T, Kato H, Hatano Y, Kawaguchi M, Furui T, Morishige K-I, Matsuo M: Can MRI features differentiate ovarian mucinous carcinoma from mucinous borderline tumor? *European Journal of Radiology* doi: 10.1016/j.ejrad.2020.109281, 132: 2020

<和文原著>

1. 栗原万友香、中野隆、坊本佳優、桑山太郎、小池大我、安見駿佑、矢野竜一朗、桑原和男、森重健一郎:妊娠合併子宮頸部大細胞神経内分泌癌の1例. 産科と婦人科 87(5):605-611, 2020
2. 竹中基記、古井辰郎、高江正道、杉下陽堂、川原泰、重松幸祐、木村文則、堀江昭史、原鐵晃、加藤雅志、西山博之、鈴木達也、宮地充、金西賢治、久保恒明、中山理、梶山広明、高井泰、鈴木直:がん・生殖医療連携未整備地域 24 か所の現状と課題—地域格差を解消するための施策—. 癌と化学療法 47(12):1691-1696, 2020

<その他>

1. 竹中基記:岐阜大学医学教育の良さを顧みる—マギル大学研修を経て—。令和元年度研修参加報告記臨床現場で教える:岐阜県内臨床研修病院指導医のための実績的研修.38-40.2020

【講演・学会発表】

<国際学会>

1. Suzuki N, Koizumi T, Sugishita Y, Matsumoto H, Furui T, Futamura M, Takai Y, Sugimoto K, Nogi H, Yamauchi H, Kataoka A, Ohno S, Tsugawa K, Kawai K, Fukuma E An intervention RCT-study aimed at improving mental health and increasing understanding of fertility preservation with Oncofertility! Psycho-Education And Couple Enrichment (O!PEACE) therapy.2020 ASCO Virtual Scientific Program 5/29-31.DOI;10.1200/JCO.2020.38.15_suppl.12119

<特別講演>

1. 森重健一郎:持続可能な周産期医療体制構築に向けて フューチャーデザインへの応用. 東京財団フューチャー・デザイン・ワークショップ 2020 (主催:東京財団政策研究所 日本学会議経済学委員会・環境学委員会合同フューチャー・デザイン分科会)(東京)2020.1.25

<パネルディスカッション>

1. 古井辰郎: メディカルスタッフセッション(講演とパネルディスカッション)2.シェアして解決、その悩み.第28回日本乳癌学会総会(Web 開催)2020.10.9-10.31

<シンポジウム・ワークショップ>

1. 伊藤由夏:生殖医療領域の実際—臨床心理士として知っておきたい生殖医療 がん・生殖医療の話②—。2020 年度愛知県臨床心理士会研修部会主催会員企画研修会(名古屋:Web 開催). 2020.9.6
2. 古井辰郎:がん患者およびサバイバーの生殖機能低下に関する支援の現状と課題～妊孕性および内分泌学的フォローアップ体制～. 第 35 回日本女性医学学会学術集会(東京:ハイブリッド開催). 2020.11.22

<一般講演>

1. 竹中基記、古井辰郎、寺澤恵子、森重健一郎:当院で施行した広汎子宮頸頸部摘出術に対する検討. 第 10 回日本がん・生殖医療学会学術集会(埼玉)2020.2.15-16
2. 上田陽子、鈴木紀子、平山祐、永澤秀子、森重健一郎:Artesunate 及び Artemisinin 誘導体の鉄依存性抗腫瘍効果. 日本酸化ストレス学会東海支部第 8 回学術集会(岐阜)2020.2.22
3. 小池大我、竹中基記、鈴木紀子、森美奈子、上田陽子、平山祐、永澤秀子、森重健一郎:卵巣癌におけるフェロトーシス誘導剤アルテスネートの効果の検討. 日本酸化ストレス学会東海支部第 8 回学術集会(岐阜)2020.2.22

4. 伊藤由夏、古井辰郎、寺澤恵子、小関道夫、森重健一郎:当院におけるがん・生殖医療のとりくみーがんを通して、子どもを持つことの意味を考えるための支援ー. 第2回 AYA がんの医療と支援のあり方研究会(名古屋:Web 開催)2019.3.21
5. 森重健一郎、青島友維、上田陽子、林佳奈、村瀬紗姫、森美奈子、寺澤恵子、竹中基記、早崎容、古井辰郎:当院での再発子宮肉腫の治療経験〜パゾパニブ塩酸塩を使用した5症例. 第140回東海産婦人科学会(Web 開催)2020.3.24-25
6. 青島友維、早崎容、坊本佳優、村瀬紗姫、竹中基記、森重健一郎:プラチナ感受性再発卵巣癌におけるオラパリブ維持療法の有効性と安全性の検討. 第72回日本産科婦人科学会学術講演会(東京:Web 開催)2020.4.24
7. 志賀友美、島岡竜一、小池大我、村瀬紗姫、上田陽子、菊野享子、森美奈子、竹中基記、早崎容、古井辰郎、森重健一郎:胎盤遺残に対する当院での治療戦略. 第72回日本産科婦人科学会学術講演会(東京:Web 開催)2020.4.25
8. 坊本佳優、上村小雪、齋竹健彰、相京晋輔、大西主真、安見駿佑、村瀬紗姫、上田陽子、志賀友美、矢野竜一郎、古井辰郎、森重健一郎:腹壁子宮内膜症から発生したと考えられる明細胞癌の一例. 第72回日本産科婦人科学会学術講演会(東京:Web 開催)2020.4.26
9. 林佳奈、島岡竜一、志賀友美、森重健一郎:分娩時胎児心拍モニターの胎児心拍数値を用いた臍帯血 pH 値予測モデルの有用性に関する検討. 第72回日本産科婦人科学会学術講演会(東京:Web 開催)2020.4.26
10. 磯部晶、増原完治、沖田考平、信永敏克:妊娠後期まで複数の経口糖尿病治療薬を使用した糖尿病合併妊娠の1例.第93回日本内分泌学会学術総会(Web 開催)2020.7.20-8.31
11. 村瀬紗姫、鈴木紀子、森美奈子、二村学、仲間美奈、古井辰郎、森重健一郎:当院におけるがん遺伝子パネルの検査の実施状況及び意識調査について. 第56回日本人類遺伝学会(Web 開催)2020.11.18-12-2
12. 波多野香代子、古井辰郎、川島英理子、杉山三知代、小池大我、山本志緒理、森重健一郎:GnRH アルゴニスト反復投与後に椎体骨折をおこした一例. 第35回女性医学学会学術集会(東京:Web 開催)2020.11.21-22
13. 山本志緒理、波多野香代子、小池大我、竹中基記、磯部晶、古井辰郎、森重健一郎:Kallmann 症候群の2例. 第35回女性医学学会学術集会(東京:Web 開催)2020.11.21-22
14. 菊野享子、竹中基記、寺澤恵子、古井辰郎、森重健一郎:当院での子宮内膜症合併妊娠における周産期合併症に関する検討. 第65回日本生殖医学会学術講演会(Web 開催)2020.12.3-23
15. 山本志緒理、古井辰郎、菊野享子、寺澤恵子、森重健一郎:当院の原発性無月経および遅発月経・初経遅延の診療状況について. 第65回日本生殖医学会学術講演会(Web 開催)2020.12.3-23
16. 竹中基記、菊野享子、石原恒夫、丹羽憲司、森重健一郎:腹腔鏡下子宮摘出する際、膈壁を十分摘除するために必要な工夫. 第60回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会(web 開催)2020.12.14-28
17. 山本志緒理、竹中基記、古井辰郎、森重健一郎:2度の手術を要した両側卵管妊娠の1例. 第60回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会(web 開催)2020.12.14-28

<その他>

1. 森重健一郎:エクオールと女性の健康～ウィメンズヘルスケア・健康寿命延伸の可能性～.第93回日本内分泌学会学術総会(web開催)2020.8.

【研究費】

種類	氏名	研究題目	
育薬・創薬研究推進支援経費	森重健一郎	卵巣癌における、各種フェロトーシス(鉄依存性細胞死)誘導剤による鉄依存性活性酸素産生メカニズムの解明と抗がん作用の検討	新規 (R2)
厚生労働省科学研究費補助金(がん政策推進総合研究事業)	古井辰郎 (研究分担者)	小児・AYA 世代がん患者に対する生殖機能温存に関わる心理支援体制の均てん化と安全な長期検体保管体制の確立を志向した研究	新規 (R2-R4)
厚労省科学研究費補助金(成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業)	古井辰郎 (研究分担者)	医学的適応による生殖機能維持の支援と普及に向けた総合的研究	継続 (R1-3)
厚生労働省科学研究費補助金(がん政策推進総合研究事業)	古井辰郎 (研究分担者)	がん・生殖医療連携ネットワークの全国展開と小児・AYA 世代がん患者に対する妊孕性温存の診療体制の均てん化に向けた臨床研究	継続 (R1-R3)
科学研究費助成事業(学術研究助成金助成)(基盤研究C・一般)	森重健一郎 (研究代表者)	新規細胞死フェロトーシスをターゲットとした卵巣がん治療戦略	継続 (H30-R2)
科学研究費助成事業(学術研究助成金助成)(基盤研究C・一般)	竹中基記 (研究分担者)	新規細胞死フェロトーシスをターゲットとした卵巣がん治療戦略	継続 (H30-R2)
科学研究費助成事業(学術研究助成金助成)(基盤研究C・一般)	森美奈子 (研究分担者)	新規細胞死フェロトーシスをターゲットとした卵巣がん治療戦略	継続 (H30-R2)
科学研究費助成事業(学術研究助成金助成)(基盤研究C・一般)	鈴木紀子 (研究分担者)	新規細胞死フェロトーシスをターゲットとした卵巣がん治療戦略	継続 (H30-R2)
科学研究費助成事業(学術研究助成金助成)(基盤研究C・一般)	上田陽子 (研究分担者)	新規細胞死フェロトーシスをターゲットとした卵巣がん治療戦略	継続 (H30-R2)

【研究助成金】

種類	氏名	研究題目
----	----	------

中外製薬	森重健一郎	卵巣癌における、各種フェロトーシス(鉄依存性細胞死)誘導剤による鉄依存性活性酸素産生メカニズムの解明と抗がん作用の検討
バイエル薬品	森重健一郎 菊野享子	子宮内膜症の病態における LPA (Lysophosphatidic acid) の役割の検討